



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 佐藤敏幸

No.1848

2020年
12月15日

**国労加入を
大胆に訴えよう**

**平和といのちと人権を！
11・3大行動**

鉄道関連労総会開催



松川議長

鉄道関連労は、一〇月三〇日第四八回定期総会をTKP新橋汐留ビジネスセンターにて開催した。
新型コロナウイルス感染症の影響により、出席代議員も各組合一名と時間短縮の中での総会で、鎌田事務局長の開会あいさつで始まり、松川議長から、コロナ禍の中で各加盟組合の取り組みなどとはもとより、鉄道関連労としての活動も延期または中止という事態の中、引き続き、感染予防対策を徹底しなければならぬ。鉄道関連労は、鉄道関連企業に働く労働者の団結と共同行動を目標に、「友愛と信義」を基軸に、鉄道関連労働者の組織化を図り、加盟組合の連携・連帯を



鎌田事務局長

強めお互いに奮闘しよう。とあいさつを行った。
続いて、鎌田事務局長から運動方針(案)が提起され、全会一致で採択された。最後に、松川議長の団結ガンバローにて散会した。
引き続き、鎌田委員長が事務局長に、横倉政治部長が事務局次長に再任された。



昨年からの雨が上がり、少し肌寒く感じる陽気となった十一月三日、憲法が生きたるコロナ後の社会の実現を掲げた「平和といのちと人権を！一・三大行動」が、三〇〇〇人の市民・労働者が国会議事堂正門前に結集するもで開催された。
菅政権の政治姿勢が、安倍前政権の引き写しにとどまらず、さらに国民を抑圧する独裁色の強い装いを鮮明にする中で、一年以内に行われる総選挙において菅政権を退陣に追い込み、立憲野党による政権をつくり上げようと市民・労働者が氣勢を上げた。折しも十一月三日は、一九四七年に日本国憲法が公布された日であり、改憲の動きを具体化しようとする菅首相に対し、世界に誇るべき平和憲法を高らかに掲げ、「安倍政治」で疲弊した国民生活を取り戻し、憲法を暮らしに生かす政治の実現と、日本学術会議の委員任命問題にみられる法律無視の政府の姿勢を質す場となった。
立憲野党や市民団体、個人から、菅政権の政治姿勢を批判する発言が続き、市民と野党の共同で政権交代を実現しようとの訴えに、共感の声が大きく響く行動となった。

**☆ 歓迎 ☆
国労加入**

11/20付 32才
**神奈川地区本部
新鶴見機関区分会**

12/1付 59才
**上野支部
我孫子・金町
保線技術センター分会**

募集しています！

- ☆ 春闘標語コンクール
- ☆ 加入呼びかけポスター

★ 締め切り ★
1月末
積極的な応募を！

